

令和元年度 福島県政世論調査

調 査 票

I 復興等に関する情報発信について

福島県では、復興やふくしまからはじまる新しい取組に関する情報を分かりやすくお伝えするため、県民の皆さんにどのように情報が伝わっているかなどをお伺いし、今後の情報発信に役立ててまいります。

問1 震災・原発事故や復興について、あなたはどのような情報を知りたいですか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 食品や農産物の安全性確保についての取組・モニタリング情報
- 2 放射線の健康への影響や健康管理に関する情報
- 3 除染の進捗などの状況
- 4 復興へ向けた取組
- 5 安心して子育てできる環境づくりへの取組
- 6 被災者支援に関する情報
- 7 賠償に関する情報
- 8 産業（工業、商業、農林水産業など）の復興に関する情報
- 9 廃炉に向けた取組や現状に関する情報
- 10 特にない
- 11 その他（具体的に： _____)

問2 本県の復興の状況や新しい取組に関する情報については主に何で入手していますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 新聞
- 2 テレビ・ラジオのニュースなど
- 3 インターネット（行政以外のページ）
- 4 インターネット（県のホームページ、フェイスブック、ツイッターなど）
- 5 県の広報（広報誌、テレビ、ラジオなど）
- 6 市町村の広報（広報誌、テレビ、ラジオ、ホームページなど）
- 7 国の広報（テレビ、ラジオ、印刷物、ホームページなど）
- 8 行政以外の印刷物
- 9 口コミ
- 10 その他（具体的に： _____)

問3 あなたは、県の広報活動に満足していますか。

(ア)～(ク)について、それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

			満足している	どちらかといえは満足している	どちらかといえは満足していない	満足していない	見た(聴いた)ことがないのでわからない
(ア)	広報誌	つながる ふくしま ゆめだより	1	2	3	4	5
(イ)	新聞	県政特集 (福島民報・福島民友)	1	2	3	4	5
(ウ)	テレビ	キビタンGO! (福島テレビ: 毎週水曜日 20:54~20:58)	1	2	3	4	5
(エ)	テレビ	ふくしまチャレンジ情報館 (福島中央テレビ: 毎週土曜日 20:54~20:57)	1	2	3	4	5
(オ)	ラジオ	キビタンスマイル (ふくしまFM: 毎週月~金曜日 17:30~17:35)	1	2	3	4	5
(カ)	インターネット	県ホームページ	1	2	3	4	5
(キ)	インターネット	Facebook (フェイスブック) 「ふくしまから はじめよう。」	1	2	3	4	5
(ク)	インターネット	YouTube (ユーチューブ) 「福島県公式チャンネル」	1	2	3	4	5

選んだ理由

問4 あなたは、県外の方に、福島県のどのようなことを伝えるべきだと思いますか。

あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、それらを選んだ理由があれば記入してください。

1 農産物や県産品の安全性	2 被災者の生活状況、被災者の声
3 復興に向けてがんばる県民の姿	4 農産物や県産品の魅力
5 除染の進捗状況	6 震災の被害及び復旧・復興の状況
7 震災後の応援に対する感謝の気持ち	8 放射線のモニタリング情報
9 観光情報、来県の呼びかけ	
10 再生可能エネルギーやロボット産業などにおける先進的な取組	
11 県内外で開催される本県関係のイベント情報	
12 特にない (理由:)	
13 その他 (具体的に:)	

上記の理由等

II 安全で安心な県づくりについて

福島県では、「福島県安全で安心な県づくりの推進に関する条例」に基づき、真に安心できる暮らしの実現に向けて各種施策を行うこととしています。県民の皆さんに「安心」をどのように実感しているのかについてお伺いし、今後の安全安心に関わる各種施策に役立ててまいります。

問5 次にあげたア～キの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

	はい	「はい」 どちらかと言えば	どちらとも言えない ・該当しない	「いいえ」 どちらかと言えば	いいえ
ア あなたの暮らす地域は、自然災害や大規模な火事災害などに対して、安心して暮らせる災害に強い地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島第一原子力発電所事故の発生により、長期にわたる健康不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
ウ あなたの暮らす地域は、児童、配偶者、高齢者、障がい者などに対する虐待や暴力がなく、安心して暮らせる地域だと思いますか。	1	2	3	4	5
エ あなたの暮らす地域は、交通事故がなく安心して暮らせる環境が整っていると思いますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、暮らしている地域の夜間や休日の救急診療に不安を感じていますか。	1	2	3	4	5
カ あなたは、毎日の食生活において食品の安全に不安を感じることなく安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
キ あなたの暮らす地域は、水や大気など生活環境の安全が確保されていると思いますか。	1	2	3	4	5

※ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災及びそれに伴う福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている方につきましては、「あなたの暮らす地域」について、以下により回答してください。
 ・福島県内に避難されている方 → 現在お住まいの地域の状況を回答してください。
 ・福島県外に避難されている方 → 避難する前に住んでいた地域の状況を回答してください。

Ⅲ 県総合計画について

福島県では、30年後の未来を展望して策定した総合計画「ふくしま新生プラン」に基づき、基本目標「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け取り組んでいます。

計画の取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、総合計画の評価・検討に活用してまいります。

問6 次にあげたア～ネの項目について、あなたは現状をどのように感じていますか。それぞれ1～5の中であてはまるもの1つに○をつけてください。

また、ノ、ハの項目については、あてはまるもの3つまで○をつけてください。

	はい	どちらかと言えば「はい」	どちらとも言えない・該当しない	どちらかと言えば「いいえ」	いいえ
ア あなたは、福島県内で子育てを行いたいと思いますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
イ あなたは、福島県の教育環境に満足していますか（あなたが親の立場に立ったと仮定してご回答願います）。	1	2	3	4	5
ウ あなたは、文化活動やスポーツ活動に積極的に参加していますか（鑑賞を含む）。	1	2	3	4	5
エ あなたは、住民やNPOなどによる地域活動に積極的に参加していますか。	1	2	3	4	5
オ あなたは、自然と伝統が残る農山漁村地域を大切にしたいと思いませんか。	1	2	3	4	5
カ 県は、原子力災害の被災地域の復興・再生に向けて、十分な取組を行っていると思いませんか。	1	2	3	4	5
キ あなたは、地元産の食材を積極的に使用していますか。	1	2	3	4	5
ク 県内には、あなたが魅力を感じる企業がありますか。	1	2	3	4	5
ケ あなたは、日常生活で、再生可能エネルギー（太陽光など）の利用を進めたいと思いませんか。	1	2	3	4	5
コ あなたは、現在の職業や仕事に満足していますか。	1	2	3	4	5

	はい	どちらかと言えば「はい」	どちらとも言えない・該当しない	どちらかと言えば「いいえ」	いいえ
サ あなたは、国内外の友人・知人に対して、自信を持って紹介できる地元のもの（自然、特産品、観光、文化など）がありますか。	1	2	3	4	5
シ あなたの住む地域は、交通ネットワークや情報基盤が十分に整備された地域ですか。	1	2	3	4	5
ス あなたは、生活習慣病などの対策のため、健康診断を受診していますか。	1	2	3	4	5
セ あなたの住む地域は、身近なところで、必要な医療を受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5
ソ あなたの住む地域は、家庭や身近な施設で、必要な福祉サービスを受けることができる地域ですか。	1	2	3	4	5
タ あなたは、食品や日用品など、消費生活に関して不安を感じることなく、安心して暮らしていますか。	1	2	3	4	5
チ あなたの生活空間は、放射線から安心して暮らすことができる空間ですか。	1	2	3	4	5
ツ あなたは、大規模災害に備えて、避難場所の確認や食料の備蓄などを行っていますか。	1	2	3	4	5
テ あなたの住む地域では、女性の社会参画が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5
ト あなたは、日頃、人と人の支え合いや絆を実感していますか。	1	2	3	4	5
ナ 福島県は、自然が豊かで、美しい景観を有する県であると思いますか。	1	2	3	4	5
ニ あなたは、日頃、省エネルギーや地球温暖化防止を意識した取組を行っていますか。	1	2	3	4	5
ヌ あなたは、今住んでいる地域が住みやすいと思いますか。	1	2	3	4	5
ネ あなたは福島県の復興が進んでいると思いますか。	1	2	3	4	5

ノ 福島県の復興に必要な取組は何だと思えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 避難地域の復興
- 2 被災者の生活再建
- 3 環境の回復（除染土の搬出、食品の安全確保など）
- 4 医療・介護提供体制の整備
- 5 子育て・教育環境の整備
- 6 農業の再生
- 7 商工業の再生
- 8 新産業の創出（再生可能エネルギー、医療機器、ロボットなど）
- 9 風評払拭・風化防止
- 10 公共交通の整備・防災対策

ハ これから福島県がどのような県になってほしいですか。あなたの考えに近いもの3つまで○をつけてください。

- 1 豊かな自然環境が守られている県
- 2 快適な生活環境の中で暮らせる県
- 3 道路や鉄道などの交通が整備され、どこにでも気軽に行き来できる県
- 4 産業が盛んで、働く場に恵まれている県
- 5 福祉や医療サービスが充実し、お年寄りや障がいのある人が大切にされる県
- 6 災害や犯罪が少なく、安心して暮らせる県
- 7 教育環境が整い、子どもたちをのびのび育てることができる県
- 8 祭りや伝統芸能などの地域文化が守られている県
- 9 買い物が便利で、市街地に活気のある県
- 10 若者が多く、遊ぶところがたくさんある県
- 11 自分の能力を十分発揮することができる県
- 12 その他（)

IV 福島イノベーション・コースト構想について

福島県では、福島イノベーション・コースト構想※を推進し、浜通り地域等の産業基盤の再生に取り組んでおります。各取組に関連した以下の項目について、県民の皆さんの考えをお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

問7 福島イノベーション・コースト構想を知っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 名前を聞いたことがあり、内容もよく知っている
- 2 名前を聞いたことがあり、内容もなんとなく知っている
- 3 名前を聞いたことがあるが、内容はあまりよく知らない
- 4 名前も内容も知らない
- 5 その他（)

問8 福島イノベーション・コースト構想について、あなたはどのような取組を知っていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 廃炉に向けた取組
(楡葉遠隔技術開発センターや富岡町の廃炉国際共同研究センターなど)
- 2 ロボット産業推進に関する取組
(南相馬市及び浪江町に整備する福島ロボットテストフィールドなど)
- 3 新エネルギー導入に向けた取組
(陸上・洋上の風力発電拠点形成プロジェクトや福島水素エネルギー研究フィールドなど)
- 4 先端技術を導入した農林水産業の再生に向けた取組
(ICTを活用した施設園芸や無人トラクター、農業アシストスーツ導入など)
- 5 環境・リサイクル産業集積に向けた取組
(先進的なリサイクル産業の形成に向けた検討など)
- 6 大学研究/教育・人材育成に関する取組
(地域と大学が連携して行う教育研究活動、企業等と連携した特色ある教育プログラムの実施など)
- 7 情報発信に関する取組
(双葉町に整備する原子力災害に関する記録と教訓の情報発信拠点(アーカイブ拠点)など)
- 8 その他(具体的に)
- 9 特にない

※ 福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想とは

福島イノベーション・コースト構想は、東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、当該地域の新たな産業基盤の構築を目指すものです。廃炉、ロボット、エネルギー、農林水産等の分野におけるプロジェクトの具体化を進めるとともに、産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組んでいます。

問9 今後、福島イノベーション・コースト構想を着実に推進し、県内全域の復興・創生にもつなげていくために、県はどのような取組みを強化していけばよいと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 廃炉に向けた取組
- 2 ロボット産業推進に関する取組
- 3 新エネルギー導入に向けた取組
- 4 先端技術を導入した農林水産業の再生に向けた取組
- 5 環境・リサイクル産業集積に向けた取組
- 6 大学研究/教育・人材育成に関する取組
- 7 情報発信に関する取組
- 8 その他（具体的に _____)
- 9 特にない

上記の理由、取組の例、等

V 土地利用について

福島県の土地利用の指針となる「福島県国土利用計画」については、今年度から次期計画の策定を開始することとしていることから、県民の皆様の土地利用に対する考え方を伺います。

問10 あなたの住んでいる地域では、土地利用についてどのようなことが問題となっていますか。あてはまるもの4つまで○をつけてください。

- 1 農地や森林が開発などで失われている。
- 2 手入れがされていない山林や田畑が多くなっている。
- 3 美しい自然環境が開発などにより失われている。
- 4 浸水やがけ崩れなど災害のおそれがある。
- 5 狭い道路や曲がった道路が多く、買い物や通勤に不便である。
- 6 交通量が多く、朝夕などに渋滞している。
- 7 快適で手頃な価格の住宅地が不足している。
- 8 住宅と工場等が混在し、騒音、大気汚染等で環境が悪い。
- 9 住宅が密集し、雑然としている。
- 10 市街地に空き店舗等が多く、街に活気がなくなっている。
- 11 使われていない土地(空き地、空き家等)が多い。
- 12 医療・福祉施設、文化・スポーツ施設等が不足している。
- 13 公園や緑地が少なく、うるおいに欠けている。
- 14 様々な土地利用が混在しており、景観がよくない。
- 15 その他 ()
- 16 特に問題はない。

問11 あなたは、今後の土地利用を考えるにあたって、特にどのような利用に重点をおくべきと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- 1 長期的な食糧需給に配慮して、優良農地を確保する。
- 2 増加している耕作放棄地の有効利用・再利用を図る。
- 3 森林の保水・災害防止などの機能を重視して、森林を保護する。
- 4 優れた景勝地や良好な自然環境を保護する。
- 5 河川の整備やがけ崩れによる危険箇所の整備などの災害対策を進める。
- 6 高速交通体系の整備を促進する。
- 7 東日本大震災と原子力災害などからの復旧・復興・再生に向けた土地利用を進める。
- 8 安全で住みよい住宅地の供給を進める。
- 9 雇用の確保など地域経済を発展させるため、商工業用地の供給を進める。
- 10 中心市街地における低・未利用地の有効利用・高度利用を促進する。
- 11 レジャー・レクリエーション空間の充実を図る。
- 12 その他 ()

問 12 行政は土地を有効に利用するための規制や制限等を行っていますが、あなたは、どのような土地対策が重要と考えますか。あてはまるもの 2つまで ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 自然環境の保全 | 7 土地税制の改正 |
| 2 土地の有効利用の促進 | 8 自由な土地利用を促すための規制緩和 |
| 3 住民が参加した土地利用計画づくり | 9 地価情報など土地に関する情報の提供 |
| 4 乱開発を防止するための規制 | 10 その他 |
| 5 災害等に配慮した土地利用の促進 | () |
| 6 適正な地価の実現 | |

VI チャレンジふくしま県民運動について

福島県では、平成 28 年度より、「健康ふくしま みんなで実践！」をテーマとした、チャレンジふくしま県民運動を展開しています。

健康づくりに対する県民の皆さんの認識や実践の現状を、今後の施策に活用してまいります。

問 13 「健康」をテーマとしたチャレンジふくしま県民運動について、最もあてはまるもの 1つに ○をつけてください。

- | |
|---------------|
| 1 知っている |
| 2 聞いたことがある |
| 3 名前を聞いたことがない |
| 4 その他（具体的に：) |

問 14 食、運動や文化活動など、最近の心身の健康づくりに関する実践状況について、最もあてはまるもの 1つに ○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 実践できている |
| 2 少しは実践できている |
| 3 何かしたいが、ほとんど実践できていない |
| 4 特に何かしたいとは思わない |
| 5 その他（具体的に：) |

(問 14 で 2～5 に回答した方にお尋ねします。)

問 15 健康づくりが十分に実践できていない理由について選んでください。あてはまるもの いくつでも ○を付けてください。(複数回答可)

- | |
|-----------------------|
| 1 仕事や家事等で、実践する時間がないから |
| 2 興味のある取組がないから |
| 3 実践する機会がないから |
| 4 健康づくりに関する情報がないから |
| 5 実践する場所・施設がないから |
| 6 お金が掛かるから |
| 7 その他（具体的に：) |

問 17 あなたは、人生において、人々が「生涯学習」を行う目的・必要性は何だと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答可）

- 1 趣味や生きがいをもつため
- 2 家庭・日常生活を充実させるため
- 3 知識や教養を高めるため
- 4 余暇時間を有効に活用するため
- 5 高度な専門的知識を身に付けるため
- 6 資格を取得するため
- 7 健康の維持や体力づくりのため
- 8 現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため
- 9 地域活動に必要な知識や技能を習得するため
- 10 他の人との親睦を深めたり、友人や仲間をつくるため
- 11 社会の進歩に遅れないよう、世の中のことを知るため
- 12 わからない
- 13 その他（具体的に： _____)

問 18 あなたは、「生涯学習」を行う上で、どのような機会が増えればよいと思いますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答可）

- 1 大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象に実施する課目・コースなど
- 2 カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室
- 3 都道府県や市町村などの自治体が公民館などで実施する講座や教室
- 4 学習ソフトやインターネットを活用した学習の機会
- 5 ボランティアやNPO活動の機会
- 6 自然体験や生活体験などの体験活動の機会
- 7 博物館や美術館等の講座や教室
- 8 図書館の図書や情報
- 9 特にない
- 10 その他の機会（具体的に： _____)

問 19 あなたが「生涯学習」を行おうとしたとき、どのような課題があると感じていますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答可）

- 1 必要な情報（内容・時間・場所・費用）がなかなか手に入らない
- 2 仕事や家事が忙しくて時間がない
- 3 講座や教室などの内容や実施時期/時間が、自分の希望と合わない
- 4 きっかけがつかめない
- 5 費用がかかる
- 6 一緒に学習や活動をする仲間がない
- 7 興味・関心がもてず、面倒に感じてしまう
- 8 生涯学習の必要性はないと思っている
- 9 特に課題はない
- 10 その他の課題（具体的に： _____)

VIII 生物多様性について

福島県では、「ふくしま生物多様性推進計画（第2次）」を軸として「自然と人が育む、生物多様性豊かな“ほっとする、ふくしま”」の実現を目指して各施策に取り組んでおります。生物多様性に関する県民の皆様の意識についてお伺いし、今後の施策に役立ててまいります。

（参考）生物多様性とは

いろいろな生物が存在している様子の中で、生態系の多様性、種における多様性、遺伝子の多様性など、各々の段階でさまざまな生命が豊かに存在することをいいます。

問 20 あなたは、「生物多様性」という言葉について知っていましたか。

あてはまるもの 1つに○をつけてください。

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 言葉も意味も知っていた |
| 2 | 言葉を聞いたことがあったが、意味は知らなかった |
| 3 | 言葉も意味も知らなかった |

問 21 震災前と比較して、あなたの周りの自然環境はどのように変化しましたか。

ア～キについて、それぞれ1～5の中であてはまるもの 1つに○をつけてください。

	そう 思わ ない	ど ち ら か と 言 え ば 「 そ う 思 わ な い 」	ど ち ら か と 言 え な い ・ 該 当 し な い	ど ち ら か と 言 え ば 「 そ う 思 う 」	そ う 思 う
ア 田んぼや畑、ため池など身近な自然が減少した	1	2	3	4	5
イ カエルや昆虫、魚、鳥など身近な生き物が減少した	1	2	3	4	5
ウ 雑木林などの里山が減少した	1	2	3	4	5
エ 海の生き物が減少した	1	2	3	4	5
オ 数の少ない、あるいは絶滅の恐れのある生き物がさらに減少した	1	2	3	4	5
カ 農作物や住宅に被害を与える動物が増えた	1	2	3	4	5
キ 外来生物など、これまで見たことがなかった動物や植物が増えた	1	2	3	4	5

問 22 生物多様性の保全や、それによる生態系からの豊かな恵み（生態系サービス）を得るために最も重要だと思うことはどれですか。

あてはまるものにいくつでも○をつけてください。（複数回答可）

- | | | |
|----|------------------------------|---|
| 1 | 里地、里山、河川などの身近な自然環境の保全・再生 | |
| 2 | 絶滅のおそれのある希少な野生生物の保護 | |
| 3 | 密猟などの違法行為に対する監視や罰則の強化 | |
| 4 | 二酸化炭素吸収機能や水源かん養機能などを高める森林の整備 | |
| 5 | 自然保護に関わる市民・NPO等への活動支援 | |
| 6 | 市民の意識啓発や子どもへの環境教育 | |
| 7 | 野生生物による農業などへの被害対策 | |
| 8 | 市民が自然と触れ合う機会の創出 | |
| 9 | 自然環境に関する調査研究の推進 | |
| 10 | 生態系に影響を与える外来生物の駆除 | |
| 11 | 自然保護に関する規制区域などの拡大 | |
| 12 | 有機農業など環境保全型農業の推進 | |
| 13 | その他（具体的に： | ） |
| 14 | わからない・知らない | |

問 23 あなたは、生物多様性に配慮したライフスタイルとして、これからどのようなことを行いたいと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 旬のもの、地のものを選んで購入する |
| 2 | 身近な生き物を観察したり、外に出て自然と積極的にふれあう |
| 3 | エコツアー（ガイドによる自然体験）に参加する |
| 4 | 自然保護活動や美化活動に参加する |
| 5 | 生き物を最後まで責任を持って育てる |
| 6 | 環境に配慮した商品を優先的に購入する |
| 7 | 自然や生き物について、家族や友人と話し合う |
| 8 | 節電や適切な冷暖房温度の設定など地球温暖化対策に取り組む |

IX ユニバーサルデザインについて

県では、すべての人が安全・安心で快適に過ごすことのできる社会の形成を目指し、ユニバーサルデザインの考え方を推進しています。

県民の皆様の認知度及び県民の皆様の求める推進方法等をお伺いし、今後の各種施策に役立ててまいります。

問24 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。
あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 言葉を知っており、考え方や意味もよく知っている
- 2 言葉を知っており、考え方や意味を少し知っている
- 3 言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない
- 4 言葉自体知らない

【参考】ユニバーサルデザインとは、はじめから、すべての人の多様なニーズを考慮し、年齢、身体的能力などの違いにかかわらず、安全で安心して利用しやすいように、ハードやソフトを計画、設計する考え方のことをいいます。

X 農林水産業について

震災後の本県農林水産物や農山漁村に対する県民の皆さんの意識をお伺いし、今後の農林水産業振興のための効果的な施策に役立ててまいります。

問25 震災後、あなたが農林水産物の購入や食生活において、以下の行動のうち実践しているまたは実践したいと考えていることはありますか。あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 国産の食材を積極的に購入する
- 2 県産の食材を積極的に購入する
- 3 放射性物質の検査結果がわかるもののみ購入する
- 4 ごはんを中心とした日本型食生活を実践する
- 5 米を原料とするパンや麺など米粉製品を積極的に利用する
- 6 食べ残しを減らすなど食品の廃棄を減らす
- 7 その他(具体的に：)

問26 あなたが本県の農山漁村の役割として期待することは何ですか。
あてはまるものにいくつでも○をつけてください。(複数回答可)

- 1 農山漁村の中で、地域の人々が働き、生活する場
- 2 食料を生産する場
- 3 多種多様な生物が生息できる環境としての役割
- 4 農林漁業の作業体験等を通じた教育の場
- 5 水資源のかん養や土砂崩れ・洪水などを防止する役割
- 6 伝統文化を保存・承継する役割
- 7 農山漁村の景観による癒し、レクリエーションの場
- 8 滞在型体験農園などの活用による二地域居住の場
- 9 その他(具体的に：)

XI 地域社会の安全・安心（治安）について

震災後、治安情勢の変化により、県民の皆さんが抱えている安全・安心に関する意識や要望などを調査し、犯罪抑止対策や検挙活動等の効率的な推進に役立ててまいります。

問27 現在あなたが住んでいる地域（仮設住宅・借り上げ住宅も含む）の治安は良いと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

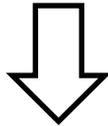
- | | |
|----------|--------------|
| 1 良い | } (問 27-1 へ) |
| 2 悪い | |
| 3 変わらない | |
| 4 わからない | |

(問27で、「1 良い」又は「2 悪い」とお答えの方のみにお尋ねします。)

問27-1 問27で、良い又は悪いと思う理由は何ですか。

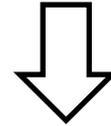
あてはまるものどちらかの枠の中から3つまで○をつけてください。

【良いと思った方】



※ 両方の枠を選ぶことはできません。

【悪いと思った方】



- | |
|-------------------------------|
| 1 犯罪の被害に遭った人が身近にいない |
| 2 町内会や人の巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かける |
| 3 パトカーや警察官の姿を良く見かける |
| 4 隣近所とのコミュニケーションが図られている |
| 5 犯罪発生ニュース等を聞かなくなった |
| 6 地域住民の防犯意識が高まった |
| 7 その他（具体的に：
） |

- | |
|--------------------------------|
| 8 犯罪の被害に遭った人が身近にいる |
| 9 町内会や人の巡回や防犯ボランティアの姿を良く見かけない |
| 10 パトカーや警察官の姿を良く見かけない |
| 11 隣近所とのコミュニケーションが図られていない |
| 12 犯罪発生ニュース等をよく聞くようになった |
| 13 地域住民の防犯意識が希薄になった |
| 14 その他（具体的に：
） |

(全員にお尋ねします。)

問28 犯罪の発生状況や犯罪を未然に防止する方法等の情報について、どのような形で提供されるのがよいと思いますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1 各種防犯研修会の開催 | 6 ラジオ放送による広報 |
| 2 警察官の訪問による具体的な助言活動 | 7 新聞の定期的な掲載 |
| 3 防犯広報紙の配布 | 8 携帯端末等へのメール配信 |
| 4 県警察ホームページへの掲載 | 9 その他 () |
| 5 テレビ放映による広報 | 10 わからない |

問29 犯罪に関するどのような情報が知りたいですか。
あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1 自分の住んでいる地域の犯罪情報 | 7 多発している犯罪の手口や傾向 |
| 2 市町村単位の犯罪情報 | 8 なりすまし詐欺に関する情報 |
| 3 福島県全体の犯罪情報 | 9 来日外国人の犯罪情報 |
| 4 全国の犯罪傾向 | 10 インターネットに関する犯罪情報 |
| 5 学校や幼稚園周辺の犯罪情報 | 11 防犯設備・防犯グッズ等の情報 |
| 6 少年非行の現状 | 12 その他 () |

問30 安全・安心な地域社会をつくるため、警察にどのような活動を強化してほしいと考えますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。

- | |
|-------------------------------|
| 1 犯罪の検挙活動 |
| 2 犯罪の抑止活動 |
| 3 パトロール等街頭活動 (被災地等における活動を含む。) |
| 4 巡回連絡 (家庭等の訪問活動) |
| 5 緊急事案に対する迅速な対応 |
| 6 交通取締り等の交通事故の抑止活動 |
| 7 犯罪・事故被害者に対する支援 |
| 8 事件・事故に関する情報発信 |
| 9 警察安全相談の充実 |
| 10 意見・要望への的確な対応 |
| 11 防犯・交通ボランティア等の結成、活動への支援 |
| 12 その他 (具体的に:) |
| 13 特にない |

問 31 現在お住まいの地域で最も不安を感じ、今後重点的に取り締まってほしい犯罪は何ですか。あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- 1 殺人、強盗等の凶悪犯罪
- 2 空き巣や車上ねらい、自転車盗などの街頭犯罪
- 3 子どもに対する声掛けやいたずら
- 4 強制性交等罪、強制わいせつ、痴漢等の性的犯罪
- 5 なりすまし詐欺（振り込め詐欺など）
- 6 少年犯罪
- 7 児童売春・児童ポルノ等の少年の福祉を害する犯罪や児童虐待
- 8 DV（ドメスティックバイオレンス＝配偶者間暴力）やストーカー犯罪
- 9 ヤミ金融事犯や悪質商法
- 10 インターネットを利用したサイバー犯罪
- 11 飲酒運転、ひき逃げ又は暴走行為などの悪質・危険な交通法令違反
- 12 暴力団等による組織犯罪
- 13 外国人犯罪グループによる犯罪
- 14 公務員等による汚職事件
- 15 麻薬、覚せい剤、危険ドラッグの売買、乱用などの薬物犯罪
- 16 不法投棄などの環境犯罪
- 17 銃器の使用・所持・密輸・密売などの銃器犯罪
- 18 東日本大震災の被災地における各種犯罪
- 19 その他（具体的に： _____)
- 20 特にない

問 32 震災から8年が経過しましたが、復興に伴い治安面で身近に感じる不安は何ですか。あてはまるもの3つまで〇をつけてください。

- 1 夜の町を歩くのが怖くなった
- 2 喧嘩、暴力沙汰を見かけるようになった
- 3 身近に交通事故の発生がある
- 4 交通流の変化、渋滞などを目にするようになった
- 5 身近に廃棄物等の不法投棄がある
- 6 復興関連事業に関して賃金の不払いなど不適正な労使契約について耳にする
- 7 賠償金目当て等のなりすまし詐欺に不安を感じる
- 8 その他（具体的に： _____)
- 9 特に不安に感じるものはない

◆ このページの質問は、アンケートにお答えいただいた内容を統計的に分析するためにお尋ねするものです。最後までご協力をお願いします。

あなたご自身についてお答えください。

F 1 あなたの性別をお知らせください。

1 男	2 女
-----	-----

F 2 あなたの満年齢をお知らせください。（令和元年8月1日現在）

1 15～19歳	5 35～39歳	9 55～59歳
2 20～24歳	6 40～44歳	10 60～64歳
3 25～29歳	7 45～49歳	11 65～69歳
4 30～34歳	8 50～54歳	12 70歳以上

F 3 あなたの現在のご職業は何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。
(複数の職業をお持ちの方は、主とするもの1つに○をつけてください)

1 農・林・漁業（農業・林業・漁業の自営者、家族従業者）
2 商・工・サービス業（小売店・飲食店・理髪店などの自営者、家族従業者）
3 自由業（開業医・弁護士・芸術家・茶華道の師匠などの自営者、家族従業者）
4 管理職（民間会社・官公庁の課長級以上）
5 事務職・専門技術職（事務職員・教員・技術者など）
6 技能職・労務職（技能工・販売店員・外交員など）
7 パートタイマー・アルバイト・フリーター・嘱託など
8 専業主婦・主夫
9 学生・生徒
10 その他（具体的に： _____)
11 無職

F 4 あなたがお住まいの市町村名をご記入ください。

（震災の影響により現在避難している方は、避難する前の市町村名）

（市・町・村）

F 5 記念品送付を御希望しますか？

希望する ・ 希望しない

記念品送付を御希望の方は以下にお名前、送付先御住所を御記入ください。

※記入いただいた個人情報は、調査の回答とは別に処理するため、個人情報と回答内容は結び付きません。

※収集した個人情報は、記念品の発送以外に使用いたしません。

お名前： _____

送付先御住所：〒 _____

お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒をお使いのうえ、
8月13日(火)までに、
切手を貼らずに郵便ポストに投函してください。

※パソコン、タブレット、スマートフォンで御回答された方は郵送し
ないでください。